

# 事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度
------	-------	--------	--------

所属・担当者氏名	環境建設部 土木管理課 土木管理係 米田 真幸	評価責任者 (担当課長)	土木管理課長 竹村 育志
----------	-------------------------	-----------------	--------------

## 1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	市単独土地改良事業(農道整備)	② 整理番号	03010401-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	元気にぎわいのまちづくり	
	節	特性を生かした地域づくり	
	項	農業の振興	
	号	生産基盤の整備	
④ 関連する個別計画	なし	⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	土地改良法		

## 2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	農村の振興と農業生産の近代化及び生産・物流の合理化を図る。
② 対象 (誰・何を対象として)	水利組合及び受益地
③ 手段 (どのようなやり方で)	農道の道肩にコンクリートで土留めを設置し、道路幅員を確保する。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	大型機械を搬入することで生産力の向上を図り、また生産物流の合理化を図る。

## 3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円,人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費					(予算) 0
② 概算人件費		(0.13) 890	(0.13) 882	(0.13) 884	
(関与比率)一般職員		(0.13) 890	(0.13) 882	(0.13) 884	
(関与比率)嘱託職員					
(関与比率)臨時職員		0	0	(0.00) 0	
③ 合計(①+②)		890	882	884	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					(当初予算)
⑤ 一般財源(③-④)		890	882	884	

#### 4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 農道整備の箇所数		0箇所	0箇所	0箇所	0箇所
	②					
成果指標	① 整備延長		0.00 m	0.00 m	0.00 m	0.00 m
	②					
効率指標	① 整備1m当りのコスト	事業費/整備延長	0 円	0 円	0 円	0 円
	②					

#### 5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	農村の振興と農業生産の近代化及び生産・物流の合理化を進めるために効果的な事業であるが、施工規模が大きいため、市が実施すべき事業である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	C	近年、事業実績はなく、成果は向上していない。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	平成16年度までは、事業費の30%の県費補助があったが、平成17年度からは県費補助採択要件を満たさなくなったため、市単独事業となった。市では、大和高田市営土地改良事業分担金徴収条例により20%の地元負担金を徴収することで、コスト削減を図っており、これ以上の負担を強いることは難しい。

#### 6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)
B	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	地元からの要望等があり、必要性が認められた場合に予算措置を行う。

#### 7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)